水稲総合的病害虫・雑草管理（IPM）における管理ポイント

No.	管理項目	管理ポイント	対象病害虫	備考（効果，具体例）
1	水田及び その周辺の管理	畦畔にグランドカバープランツを植栽する。	斑点米カメムシ類等	シバザクラ等のグランドカバープランツを植栽し，畦畔雑草を減少させる。
		畦畔の整備，畦塗りなどにより，漏水を防止する。	水田雑草	農薬（除草剤）の効果安定と水質汚濁防止。
		出穂2週間前までに草刈を行う。	斑点米カメムシ類	畦畔のイネ科雑草での斑点米カメムシ類の増殖を抑える。防除効果を上げる。
		稲刈後に畦畔・農道・休耕田の除草を行う。	ヒメトビウンカ・ 斑点米カメムシ類等 白葉枯病	次年度の発生密度を下げる。 白葉枯病菌は，イネ科雑草のサヤヌカグサで越冬する。
		稲刈り後早期にほ場の耕起を行う。	多年生雑草（クログワイ，オモダカ等）	多年生雑草の塊茎を地表に露出させ，翌年の発生密度を低下させる。
2	品種の 選定	いもち病や白葉枯病の常発地では，抵抗性の強い品種を選定する。	いもち病，白葉枯病	いもち病に強い品種⇒こいもみじ 白葉枯病に強い品種⇒コシヒカリ
3	種子の予措	種子更新を行う。	種子伝染性病害 ｲﾈｼﾝｶﾞﾚｾﾝﾁｭｳ	種子伝染性病害：ばか苗病，いもち病，ごま葉枯病，もみ枯細菌病，苗立枯細菌病
		塩水選を行い，不良籾を除去する。	種子伝染性病害	うるち米は 1.13，もち米は 1.08 の塩水比重で行う。
		種子消毒（温湯消毒法，薬剤消毒）を行う。	種子伝染性病害 ｲﾈｼﾝｶﾞﾚｾﾝﾁｭｳ	農薬使用の場合：廃液の処理を適切に行う。 また，廃液の出にくい方法を用いる。
4	健全苗の 育成	育苗箱は使用後十分に洗浄し，乾燥して清潔な場所に保管する ＊必要が認められれば，育苗箱の消毒をおこなう。	苗立枯病	苗立枯病菌は，育苗資材にも付着して越冬する。
		罹病苗を本田へ持ち込まない。 ＊罹病した稲わらや籾殻は育苗ハウスの側に置かない。	いもち病，ばか苗病，苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	罹病苗を持ち込みによる本田での発生を防ぐ。
		適切な播種量，施肥量を守る。	苗立枯病，いもち病	多湿条件，徒長した生育では，病気が発生し易くなる。
5	育苗箱施薬剤	育苗箱施薬剤の選定を行い，過剰防除にならないよう，対象病害虫に実施する。	いもち病，紋枯病 イネミズゾウムシ， イネドロオイムシ， ウンカ類，ヨコバイ類　ほか	例年の発生状況などを考慮し，必要な成分の入っている農薬を選択する。 ＊薬剤によっては，ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ，ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞにも効果が期待できる。

No.	管理項目	管理ポイント	対象病害虫	備考(効果，具体例)
6	代かき作業	代かきを丁寧に行い，田面をできるだけ均平にする。		漏水を抑えることで，農薬(本田粒剤など)の効果を安定させる。除草剤の効果を安定させ，薬害を減らすことができる。
7	移植作業	健全な苗を用い，疎植，小株植にする。	いもち病 紋枯病	生育が過繁茂になると病害の発生が多くなる。
		置き苗は病気の発生源になるので，早めに処分する。	いもち病	置き苗では，本田よりも早く，いもち病が発生する。
8	雑草対策	雑草の発生状況に応じて，過剰防除にならないように，適切な除草剤を選定する。		対象とする雑草に効果的な成分が入っているかをチェックする。
		除草剤を用いるときは，環境への影響に充分配慮して処理する。		魚類や水質への影響を配慮して農薬を選択する。
		耕種的防除法に取り組む。		深水管理や 2 回代かきによりノビエの発生を抑制する。
		物理的防除法に取り組む。		乗用タイプの除草機などの機械除草を導入する。 再生紙マルチ移植栽培を導入する。
		生物的防除法に取り組む。		アイガモ農法等を導入する。
9	肥培管理	適正な肥培管理を行う。	いもち病 紋枯病	多窒素条件で栽培すると過繁茂・軟弱となり病害虫の発生が多くなる。
10	農薬	薬剤感受性の低下を防止するために，同一分類の薬剤を連用しない。 薬剤耐性・抵抗性の病害虫が確認されている地域では農薬の選択に注意する。	病害虫全般	農薬の作用機構分類表を利用する。
		止水期間の定められている農薬を使用する場合には，農薬毎に定められている止水期間中，落水・かけ流しは行わないなど適切な管理を行う。		農薬(除草剤)の効果安定と水質汚濁防止。
		農薬を散布する際には，適切な飛散防止措置を講じる。		周辺作物，人畜，水産動植物，有用昆虫，公共用水などへの危被害の防止。

No.	管理項目	管理ポイント	対象病害虫	備考（効果，具体例）
11	作業日誌	各農作業の実施日，病害虫，雑草の発生状況，農薬を使用した場合の名称，使用時期，使用量，散布方法などの栽培管理状況を記録する。		病害虫発生の特徴把握，薬害発生時の原因究明
12	発生予察情報	防除時期の目安として病害虫発生予察情報をチェックする。		☆広島県病害虫・雑草防除基準/病害虫発生予察情報 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html
13	防除の要否の判断	・予防的措置を講じる ⇒ 上記管理ポイントの実践 ・発生状況に注意する ⇒ 予察情報の活用 ・必要な場合に防除を実施する ⇒ 要防除水準の活用		